



miniature sweets campus | フルーツ

スライスいちごの作り方

〈成形〉細長く伸ばして三角の棒にし、種を入れる。
〈着色〉外側を赤く塗ってから1mmにカットし、断面の模様と白い筋を描く。

◎ 用意するもの

粘土

樹脂粘土 / スケールGで計量

絵の具・塗料

- ホワイト
- イエローオーカー
- パーマネントイエロー
- パーマネントレッド
- 松葉色（ヘタ側）
- タミヤ いちごシロップ
- ブルジャンブルーヒュー

道具

クリアファイル / 8×5cmを半分に折る アートプレッサー / 目盛り付き
目打ち・デザインナイフ 割り箸+両面テープ / 新しいテープを貼り足す
筆（シロップ専用）・キャムロンプロ 10/0・100/0・水

仕上げ

ツヤありニス / ウルトラバーニッシュ スーパーグロス スポンジ（乾燥用）
いちごの断面の写真

PART 1 | 成形

1 着色して細長く伸ばす

- 1 クリアファイル（8cm×5cm）を半分に折っておく
- 2 樹脂粘土をスケールGで計量し、ホワイトとほんの少しのイエローオーカーで着色する
いちごは透け感がないので白を入れます。
- 3 指で少し細長くしてから、アートプレッサーで垂直に、ゆっくり転がして伸ばす
傾くと太さが変わります。

- 4 目盛りで6cmの長さにする



6cmに伸ばす

2 三角形の棒にする

- 1 折ったクリアファイルのV字の部分に挟んで押しつけ、上に角をつける
このV字の角が、いちごのトップになります。
- 2 クリアファイルの上で、角を親指と人差し指でつまんで強調する
- 3 何度か繰り返して、いちごらしい三角形に整える



V字に挟んで三角形に

3 種を入れる

- 1 目打ちで、片面に斜めに種を打つ（1列4つくらいずつ）
- 2 反対の面も同じように打つ
- 3 トップ（角の部分）にもちょんちょんと種を入れる
- 4 へこんだ角を、指でもう一度つまんでエッジを立てる
- 5 スポンジの上で一晩乾かす



斜めに種を打つ

4 外側を赤く塗る

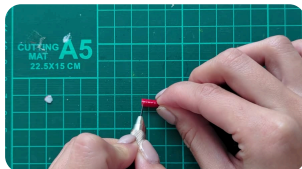
- 1 割り箸の両面テープに、種が上になるようにのせる
- 2 いちごシロップにプルシャンブルーヒューを少し混ぜる
青を少し入れると深みが出て本物らしくなります。筆が傷むので、この塗料専用の筆がおすすめ。
- 3 種のある面 → 反対の面 → トップの順に塗る
種の中まで色が入ってOK。端は切り落とすので、ついても大丈夫。
- 4 10分ほど乾かす。筆はすぐ石鹸と水で洗う



外側を赤く

5 1mmにカットして並べる

- 1 デザインナイフで端を切り落とし、約1mmの厚さでカットする
全部切るとかなりの数になるので、使う分・練習したい分だけ（10枚くらい）。
- 2 割り箸に新しい両面テープを上から貼り、粘着力を落とさずにそのままのせて、上から少し押さえる



1mmにカット

6 断面を塗る

いちごの断面は、中心が白く、外側ほど赤いグラデーション。外へ向かう白い筋があり、中心は少し赤く、ヘタ側は少し緑です。

- 1 1回目：パーマネントレッドを水たっぷりで溶き、パーマネントイエローとイエローオーカーを少し混ぜて彩度を落とす。外側から内側に向かって細かく線を描くように、ほんのり塗る
- 2 2回目：赤とイエローオーカーを足した少し濃い色で、外側の半分くらいに線を重ねる
- 3 中心：同じ色で真ん中に赤を入れる
お尻（ヘタ側）の先は緑を入れるので、下まで塗らずに残します。
- 4 ヘタ側：松葉色を水で溶き、ヘタとの接合点にちょんちょんとほんの少しのせる
このひと手間で、ぐっといちごらしくなります。



外側から内へ、細かい線で

7 白い筋を描いて仕上げる

- 1 筆を100/0に持ち替え、ホワイトを水で薄めて、さっきの赤を少し混ぜた薄いピンクにする
白のままだと色が浮きます。
- 2 中心の赤のまわりに、見えるか見えないかくらいの線を入れる
- 3 そこから外側へ向かって8本、細い線を入れる
- 4 ツヤありニス表面に塗り、1日ほど乾かして完成



中心から外へ8本

★ 線はできるだけ細く

太くなると「描いた感」が出てしまいます。いきなり描くのが怖ければ、紙で細い線の練習をしてから。いちごの断面がいちばん難しいので、これができれば他もぐっと楽になります。半割り苺のレッスンでも練習できます。

できたら、ぜひ作品を見せてね♡
miniature sweets campus | スライスいちごの作り方